

東北地方 1か月予報

(7月29日から8月28日までの天候見通し)

平成18年7月28日
仙台管区気象台発表

<特に注意を要する事項>

東北地方では日照時間が少なく気温の低い状況が続いています。ここ数日も気温が低く日照時間が少ない見込みです。農作物の管理などに注意してください。

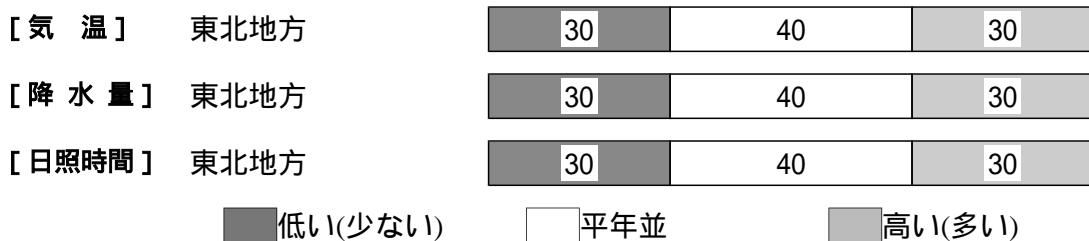
<予想される向こう1か月の天候>

太平洋高気圧に覆われて平年と同様に晴れの日が多いですが、前線や気圧の谷の影響で天気がぐずつくことがあるでしょう。

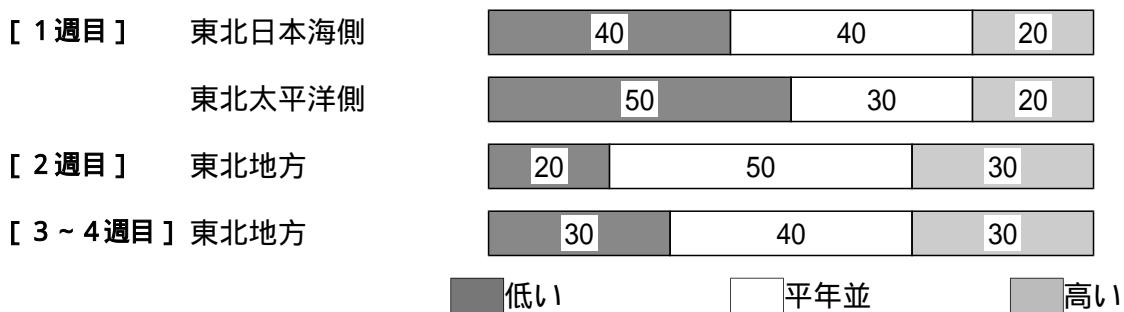
向こう1か月の平均気温は東北地方で平年並、降水量は東北地方で平年並、日照時間は東北地方で平年並でしょう。

週別の気温は、1週目は東北日本海側で平年並か低く、東北太平洋側で低い、2週目、3~4週目は東北地方で平年並でしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 7月29日(土) ~ 8月28日(月)

1週目 : 7月29日(土) ~ 8月4日(金)

2週目 : 8月5日(土) ~ 8月11日(金)

3~4週目 : 8月12日(土) ~ 8月25日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は8月4日

3か月予報：8月24日(木) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温 ()	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	23.1	125.8	192.8	23.6	23.6	22.9
深浦	23.2	155.0	187.8	23.5	23.5	23.1
むつ	21.7	129.8	156.2	22.1	22.1	21.6
八戸	22.4	131.6	177.2	22.9	22.8	22.3
秋田	24.6	172.7	201.9	24.9	24.9	24.6
盛岡	23.3	166.5	161.5	23.8	23.7	23.2
大船渡	23.1	173.1	164.8	23.3	23.3	23.0
宮古	22.3	162.0	168.5	22.5	22.5	22.2
仙台	24.1	158.3	157.7	24.4	24.4	24.0
石巻	23.5	114.1	180.1	23.6	23.7	23.5
山形	24.8	138.4	187.3	25.4	25.1	24.5
新庄	24.0	163.3	181.3	24.5	24.3	23.9
酒田	25.0	166.7	215.2	25.4	25.3	24.9
福島	25.3	134.1	161.8	25.8	25.6	25.1
若松	24.9	127.2	202.4	25.4	25.2	24.7
白河	23.4	207.4	156.6	23.8	23.7	23.2
小名浜	23.9	123.5	196.1	23.6	23.9	24.0

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4 ~ +0.6	74 ~ 121	89 ~ 110
東北日本海側	-0.5 ~ +0.5	78 ~ 111	91 ~ 112
東北太平洋側	-0.4 ~ +0.6	67 ~ 126	87 ~ 112

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6 ~ +1.2	-0.8 ~ +1.1	-0.5 ~ +0.8
東北日本海側	-0.7 ~ +1.1	-0.9 ~ +1.0	-0.5 ~ +0.9
東北太平洋側	-0.5 ~ +1.3	-0.7 ~ +1.2	-0.5 ~ +0.8

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成18年7月28日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(7月29日~8月28日) :

太平洋高気圧に覆われて平年と同様に晴れの日が多いですが、前線や気圧の谷の影響で天気がぐずつくことがあるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

1週目(7月29日~8月4日) :

期間のはじめは、梅雨前線や気圧の谷の影響で雨や曇りでしょう。その後は、東北日本海側は晴れの日が多く、東北太平洋側は曇りの日が多い見込みです。

平均気温は東北日本海側で平年並か低く、東北太平洋側で低いでしょう。

2週目(8月5日~8月11日) :

太平洋高気圧に覆われて、東北地方は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

3~4週目(8月12日~8月25日) :

太平洋高気圧に覆われて、東北地方は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。一時的に前線や気圧の谷の影響を受けて曇りや雨の日もある見込みです。

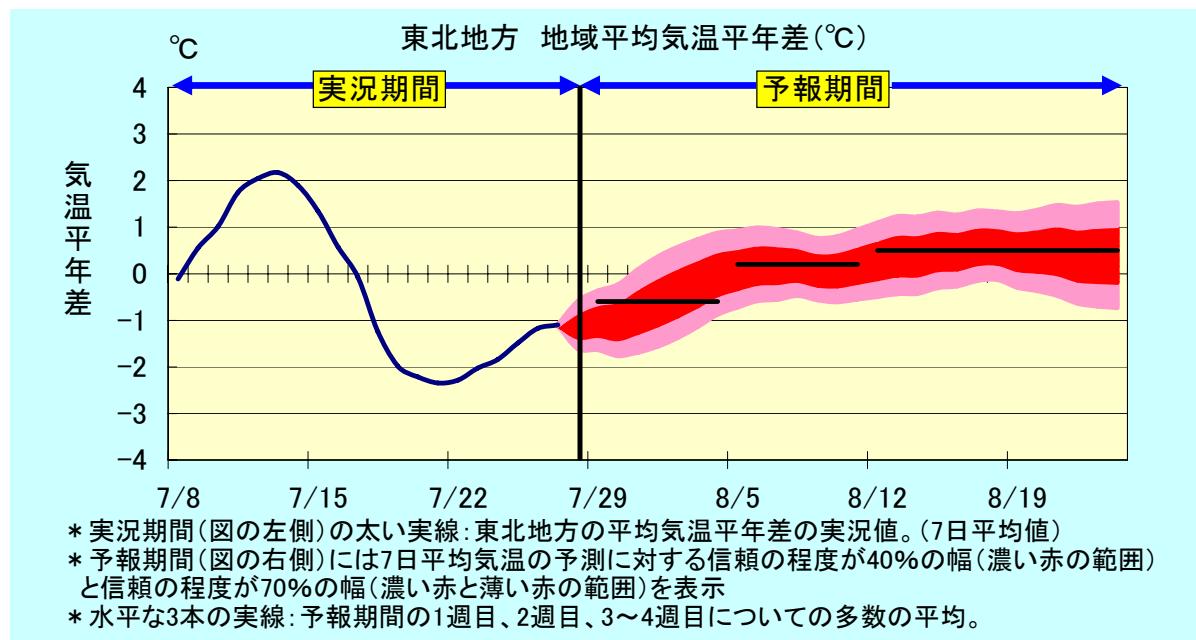
平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	16.6日	4.0日	4.3日	8.3日
東北太平洋側	14.6日	3.7日	3.9日	7.0日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目、3~4週目共に「平年並」と予測している。予報は、その他の資料から1週目の東北日本海側を「平年並か低い」、東北太平洋側を「低い」とする。なお、数値予報の信頼度は大きい。

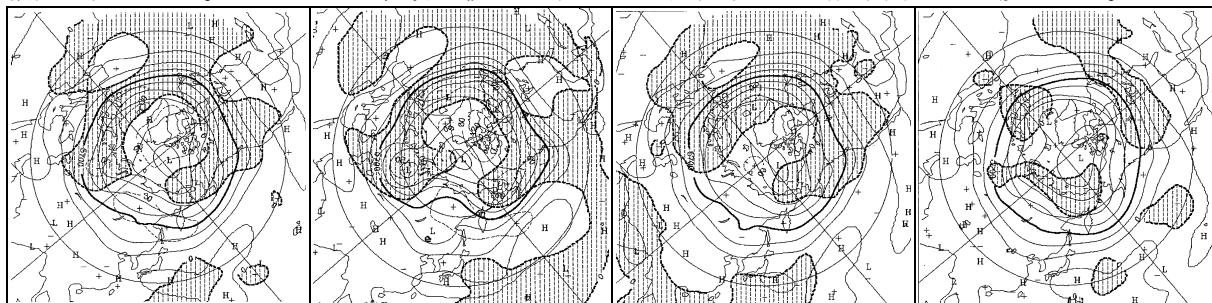


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、極付近では正偏差で、それを取り囲む高緯度帶は広く負偏差となる。ただし、シベリア付近は正偏差で、偏西風はやや分流傾向。日本付近は概ね亜熱帯高気圧に覆われる。

1週目は、月平均同様に、シベリア付近は正偏差で、偏西風は分流傾向。また、亜熱帯高気圧は南西諸島及び西日本付近を広く覆うが、日本の東海上には負偏差域が広がる。2週目は、亜熱帯高気圧は日本の南東海上に位置する。日本付近は概ね正偏差であるが、日本の南東海上には負偏差が見られる。3~4週目は、引き続き日本付近は南東海上の亜熱帯高気圧に覆われる。



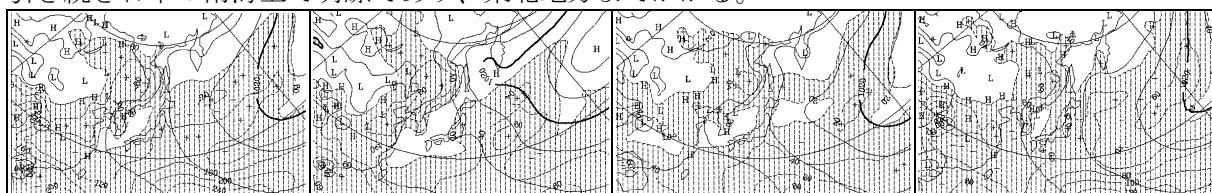
500 hPa 高度予想図（左から）1か月平均、1週目平均、2週目平均、3~4週目平均

実線：等高度線（間隔 60m）、点線：平年差（間隔は1か月 30m、週別 60m）、陰影部：負偏差域（一般に寒気に対応）

地上気圧と降水量：

月平均では、太平洋高気圧が日本付近へ張り出し、朝鮮半島付近まで高圧部が広がる。降水域は日本の南東海上で明瞭である。日本付近は北日本及び東日本を中心に降水域がかかる。

1週目は、太平洋高気圧の北日本への張り出しが弱い。オホーツク海高気圧が明瞭でその影響を受ける見込み。2週目は、太平洋高気圧は日本付近で強い。日本の南海上には熱帯の擾乱に対応する降水域が見られる。3~4週目は、日本付近は引き続き太平洋高気圧に覆われる。降水域は引き続き日本の南海上で明瞭であり、東北地方までかかる。



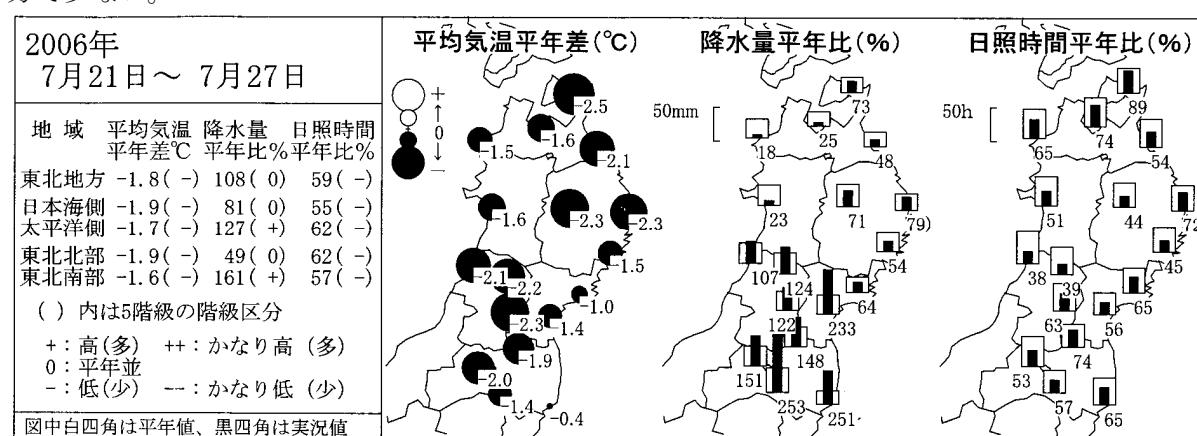
地上予想天気図（左から）1か月平均 1週目平均 2週目平均 3~4週目平均

実線：等圧線（間隔 4 hPa）、陰影部：降水域（1か月 80mm 以上、1週目・2週目 20mm 以上、3~4週目 40mm 以上）

4. 最近1週間（7月21日～7月27日）の天候の経過

この期間梅雨前線は本州南岸に位置し、期間の前半はオホーツク海高気圧の影響を受けた。東北地方は21日から22日かけて日本海から進む低気圧の影響で東北南部ではまとまった雨となった。26日と27日は、大陸から進んできた高気圧に覆われて東北地方は晴れたところが多かった。

平均気温は東北地方で低い。降水量は東北北部で平年並、東北南部で多い。日照時間は東北地方で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）

■ 平成 18 年の梅雨入り

地方	平成 18 年	平年差	昨年差	平年	昨年
沖縄	5月 14 日ごろ	6日遅い	12日遅い	5月 8 日ごろ	5月 2 日ごろ
奄美	5月 13 日ごろ	3日遅い	8日遅い	5月 10 日ごろ	5月 5 日ごろ
九州南部	5月 26 日ごろ	3日早い	16日早い	5月 29 日ごろ	6月 11 日ごろ
九州北部	6月 8 日ごろ	3日遅い	2日早い	6月 5 日ごろ	6月 10 日ごろ
四国	6月 8 日ごろ	4日遅い	3日早い	6月 4 日ごろ	6月 11 日ごろ
中国	6月 8 日ごろ	2日遅い	3日早い	6月 6 日ごろ	6月 11 日ごろ
近畿	6月 8 日ごろ	2日遅い	3日早い	6月 6 日ごろ	6月 11 日ごろ
東海	6月 8 日ごろ	同じ	3日早い	6月 8 日ごろ	6月 11 日ごろ
関東甲信	6月 9 日ごろ	1日遅い	1日早い	6月 8 日ごろ	6月 10 日ごろ
北陸	6月 15 日ごろ	5日遅い	12日早い	6月 10 日ごろ	6月 27 日ごろ
東北南部	6月 9 日ごろ	1日早い	6日早い	6月 10 日ごろ	6月 15 日ごろ
東北北部	6月 15 日ごろ	3日遅い	10日早い	6月 12 日ごろ	6月 25 日ごろ

■ 平成 18 年の梅雨明け

地方	平成 18 年	平年差	昨年差	平年	昨年
沖縄	6月 20 日ごろ	3日早い	7日早い	6月 23 日ごろ	6月 27 日ごろ
奄美	6月 20 日ごろ	8日早い	7日早い	6月 28 日ごろ	6月 27 日ごろ
九州南部	7月 26 日ごろ	13日遅い	11日遅い	7月 13 日ごろ	7月 15 日ごろ
九州北部	7月 26 日ごろ	8日遅い	9日遅い	7月 18 日ごろ	7月 17 日ごろ
四国	7月 26 日ごろ	9日遅い	10日遅い	7月 17 日ごろ	7月 16 日ごろ
中国	-----	-----	-----	7月 20 日ごろ	7月 18 日ごろ
近畿	-----	-----	-----	7月 19 日ごろ	7月 18 日ごろ
東海	-----	-----	-----	7月 20 日ごろ	7月 18 日ごろ
関東甲信	-----	-----	-----	7月 20 日ごろ	7月 18 日ごろ
北陸	-----	-----	-----	7月 22 日ごろ	7月 18 日ごろ
東北南部	-----	-----	-----	7月 23 日ごろ	8月 4 日ごろ
東北北部	-----	-----	-----	7月 27 日ごろ	8月 4 日ごろ

注)

- ・梅雨は季節現象であり、その入り明けは、平均的に5日間程度の「移り変わり」の期間があります。ここに掲載した期日は移り変わりの期間の概ね中日を示しています。
- ・「平年」は、平成 12 年(2000 年)までの過去 30 年の平均(入り・明けを特定しなかった年は除外)の日付です。
- ・このページの更新は平日に行います。情報発表日が休日の場合は休日明けの更新となります。